



Sponsor a Child

# クリスチャンパートナーズ

## 通信第 86 号

- 
- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| ・発行日 / 2012 年 4 月 7 日                                 | ・発行所 / クリスチャンパートナーズ              |
| ・事務局 / 〒422-8053 静岡市駿河区西中原<br>2 - 7 - 63 - 1001 草野計雄方 | ・Tel / Fax 054-283-9317          |
| ・郵便振替口座 / 00150 - 0 - 134994                          | ・e-mail / cnec-kk@mail.wbs.ne.jp |
|   | ・http://www2.wbs.ne.jp/~c-p/     |
- 

### 「主に結ばれて」

理事長 木ノ内 一雄

東日本大震災から一年が経ちました。その日、東京神学大学の卒業式に列席していました。礼拝堂は天井が高く、吊ってある照明が大きく揺れたため、梁が落ちてくるのではないかと思いました。10日後、アメリカからパートナーズ インターナショナルのポップ・サーベッジ氏が来日しました。彼はこのような災害の専門家で、これまでハイチ、インドネシア、インドなどでも活動してきました。今回、多くの義援金が世界各地から送られて来たため、現地の状況を見ておく必要があったのです。仙台、石巻に行きましたが、そこでわたしたちが見たのは海岸から内陸に広がる広大な瓦礫の原でした。

日本では多くの外国人が動画を作り、自分たちの生活の様々な出来事をインターネットで世界に発信しています。今回の災害でも多くの人たちが自分たちの視点でこの災害を捉えています。彼らの多くは留学生や英語の先生などで、自分たちは安全であること、日本のために祈り、義援金を募ってほしいと訴えていました。同時に海外からも多くの人たちが、激励の言葉を送ってきています。他人のために自分の命を犠牲にした人たち、規律を守り、助け合っている人たちに感動し、自分たちもそれに学びたいという声が沢山寄せられました。情報が瞬時に、しかも誰でも発信できることが以前の災害との一番の違いではないかと思います。人々は国や人種という枠を超えて強く「結ばれて」いることを実感しました。

日本の古い文化は、自分の命よりも大切なもの、そして人の「和」と「共生」を教えることができました。例えば武士は自分に誇りを持ち、仕える主人のためには命さえ惜しみませんでした。しかし、このことは戦中の覇権主義、軍国主義に利用され、多くの若い命が奪われることになりました。戦後、その反省に立って民主主義による命の大切が強調されるようになりましたが、この教育もまた近代の競争原理の導入と共に自己中心的な生き方に変質し、社会に大きなひずみが生まれることになりました。

今回の災害でわたしたちが知ったのは、古い日本の文化が今も生きていて、社会を支えているということでした。そのことを知ってわたしたちは感動し、勇気づけられたのです。そのことを世界の人たちも認め、賞賛したのではないのでしょうか。新渡戸稲造は著書「武士道」で「私は、封建制と武士道がわからなくては、現代日本の道徳思想は封印された書物と同じだと気づいた」(ちくま新書、14頁)と記し、日本の古い文化を旧約の律法とし、この上に新約聖書が読まれなければならない、としています。新約聖書で教える自分の命より大切なものは神であり隣人です。「主に結ばれて」わたしたちの和と共生が育まれるものとなるのではないのでしょうか。

## A T I 神学校の奨学生より

～昨年7月に高橋宣教師がお持ちくださった手紙を、稲葉夫人に訳していただきました。～

私の名前はマグレス・レイワカベッシ (Magles Leiwakabessy) です。1982年にアンボンで生まれました。私は5人兄弟の2番目です。信者になった妹からイエス・キリストのことを聞き、2002年8月28日に救い主として受け入れる決心をしました。それ以来、私は聖歌隊員となり、教会学校で子どもたちのために活動しました。



教会で働かないかとのお誘いを受けましたが、当時は英語科の学生でしたし、家族の経済状態も考えてお断りし、2007年に無事大学を卒業しました。

神様の僕になるようにとの呼びかけが、心に強く残ったので、全てをお任せする決心をして、2009年から神学校での学びを始めました。ここでの生活は大変楽しく、感謝しています。

私の希望は、卒業したら伝道師として働くことです。「ローマの信徒への手紙」(1:5-6)『わたしたちはこの方により、その御名を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くために、恵みを受けて使徒とされました。この異邦人の中に、イエス・キリストのものとなるように召されたあなた方もいるのです』に従って行動したいと思います。



ニラ 中央デニ マグレス

私の名前はデニ (Deni) です。家族がクリスチャンなので、生まれた時からイエス様を知っていましたし、日常生活の中にいつも神様のお守りがあることを知っています。

神様の僕として働くことは、小学校6年生の時の夢でしたが、それはずっと心の中にしまったままでした。お祈りの中でいつもその夢がかなうように一生懸命願いました。神様がその祈りをかなえてくださったので、

現在私は ATI 神学校という素晴らしい学び舎を与えられています。

これはすべて、スポンサーの皆様が私のため学費やお祈りでご支援くださっているからです。

私の感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。皆様の優しいお心遣いにご支援を大切にします。

スポンサーの皆様に御恩返しはできませんが、神様がたくさんのお恵みと祝福をお与えくださると思います。本当にありがとうございます。

主の御名を賛美します。スポンサーの皆様、いかがお過ごしですか。私はお陰様で元気に暮らしております。

私の名前はニラ・シャンタラ(Nilla Shantyara)です。洗礼を受けて、神様のために働きたいと私の心を動かしてくださった神様に感謝します。高校を卒業し、2010年からATI神学



校で学ぶ決心をしました。現在は前期の講義も無事に終え、後期が始まるところです。

スポンサーの皆様のご支援で、私は学ぶ場を与えられ感謝しています。皆様に恩返しはできませんが、神様のお守りがいつも皆様の上にあるようにお祈りし、感謝の気持ちを忘れず、さらに勉強にはげむ決意です。私の神学校での勉強が順調にいきますように、どうかお祈りを、これからもおねがいたします。 愛をこめて ニラより

**ゼザード アナコッタ(Zezard Anakotta)の近況** (「通信」第83号参照、氏名の読みを訂正。)

ゼザードは、父親を事故で亡くし、病気の母親はシンタンにいる長男のところに引き取られ、彼自身はATI神学校の厨房の責任者として働いている叔母の世話で高校に通っていて、高橋先生を通して奨学金を受けています。叔母のドルフィさんから丁寧なお礼の手紙が届きました。

ゼザードには毎月11万ルピアの学費が高橋先生から渡されており、高校2年に進級。

弟の一人は小学校卒業、下の弟は6年生に。姉のモナが高校を卒業し、商業学校を卒業した長姉ハナはATI神学校入学を希望しているそうです。ドルフィ叔母さんは5人の甥姪を引き取って育てているのです。高橋先生のお話では、ゼザードは週3日夕方1~2時間宣教師館の庭掃除をして、交通費や小遣いを得ているそうです。

ドルフィ叔母さんの手紙には、ゼザードが「素晴らしいスポンサーを与えてくださった神様に感謝している」そうで、叔母さんは彼がキリストを信じるように導かれることを願っています。

## インマヌエル中学校の奨学生たち7名



**アニナ・ウィンダニ** (Anina Windani) 7年生(中学1年)

私は1998年6月生まれ、センクアン地方の出身で二人兄弟の長女です。

両親は農業に従事しています。この学校で学ぶ機会を与えていただき、寮で生活できることを大変うれしく思います。好きなことは読書で、将来の夢は教師になることです。私に学ぶ機会を与えてくださっているスポンサーの皆様には感謝申し上げます。お陰様で両親の負担が大分軽くなります。



**マリア・クリス・モニカ・ヴィタ**(Maria Chris Monika Vita)7年生(中学1年)

私は1998年9月生まれ、ベルナヤウ出身、三人兄弟の末子です。父親は教師です。シントンで学ぶ機会を与えていただき、寮で生活ができることを大変うれしく思います。私はこの中学校を卒業できるように頑張ります。絵を描くことと読書が好きです。教師になりたいと思っています。私に学費のご支援をくださっているスポンサー様に感謝の言葉を申し上げます。両親も喜んでいきます。



**アベド・アプリアン・スマルディ** (Abed Aprian Sumardi) 8年生 (中学2年)

僕は1992年4月生まれ、ベクアン出身、三人兄弟の二番目です。両親はベクアン、ケツンガン、フルで神様の僕として働いています。

将来の夢は教師になることです。趣味は音楽とバドミントンです。僕に学ぶ機会を与え、支援してくださる皆様に感謝の言葉を申し上げます。



**スシ・スサンティ** (Susi Susanti) 8年生 (中学2年)

私は1995年5月生まれ、アンパルバダン出身、三人兄弟の2番目です。両親は農業をしています。この中学校で現在2年生まで学ぶ機会をいただいて、神様に感謝しています。バドミントンが好きです。将来は医者になりたいと思っています。スポンサーの皆様が私のためにお祈りとお支援をしてくださいます、心から感謝いたします。



**ペペテセノン** (Pepetesenon) 8年生 (中学2年)

僕は1995年6月生まれ、ベダユの出身で四人兄弟の長男です。両親の職業は農業です。スポンサー様のご支援のお蔭で、この中学校で勉強することができました。大変感謝しています。両親も喜んでます。

僕はバレーボールが好きです。将来は教師になりたいと思っています。皆様に神様のお恵みがいつもありますように祈っています。

**ジャッキー オネシトルス** (Jacky Onesitorus) 8年生 (中学2年)

僕は1998年7月生まれ、センクアン出身、三人兄弟の長男です。両親は農業をしています。僕は運動が好きです。将来は教師になりたいと思っています。神様のお助けによりこの中学校で学ぶことができ、スポンサー様からのご支援を大変感謝しています。

フランシスカ デシ (Fransiska Desi) 8年生 ( 中学 2 年 )

私は 1996 年 12 月生まれ、カツンガン ヒリル出身、三人兄弟の長女です。両親は農業をしています。バスケットボールが好きです。将来は医師になりたいと思います。スポンサー様が私のために支援してくださいまして、心から感謝いたします。これからもよろしくお願いいたします。

東日本大震災救援募金最終報告 ( 2012 年 3 月 31 日付 )

<u>支援金入金元</u>		<u>支援金送付先</u>	
クリスチャンパートナーズ関連	383,869	日本基督教団	2,000,000
P I シンガポール	209,834	アジア学院	1,000,000
<u>P I 米国</u>	<u>7,744,998</u>	声なき者の友の輪	1,000,000
合計	8,338,701	クラッシュジャパン	3,571,885
		東北ヘルプ	649,907
		( 現地視察経費・振込料 )	116,909 )

(送付先は支援金を送られた団体の希望に基づきます。経費は当会負担)

【理事会報告】第 171 回理事会は 2012 年 1 月 23 日 ( 月 ) 一ツ橋学生会館で開催。前回議事録承認。2011 年 10・11・12 月度会計報告承認。東日本大震災募金会計報告。「通信」第 86 号の内容は奨学生からの挨拶を中心とし、原案を理事に送付。次回理事会で協議の上、3 月中に発行予定。3 年後に創設 30 周年を迎えるクリスチャン パートナーズの「これから」について今後協議していく。

第 172 回理事会は 2012 年 3 月 19 日 ( 月 ) 一ツ橋学生会館で開催。理事長が神田道彦氏を推薦、理事会は同氏を理事として承認した。前回議事録承認。2012 年 1・2 月度会計報告承認。今後 S A C 支援金とガーナ支援金を別項目として処理する。東日本大震災支援金として P I 米国から送られた 2800 ドルは東北ヘルプに送ることにして、支援金会計を終了する。「通信」第 86 号原案について協議、支援金の最終報告を訂正して承認、4 月 10 日発行予定。

P I シンガポール創立 60 周年祝賀式 ( 5 月 25 日 ) への招待状が理事長あてに到着、木ノ内和美・宮澤玲子両理事が出席予定。祝い金として「同労団体協力」から 5 万円を支出する。ガーナについての理解を深めるため、関係者の話を聞くなどの機会を作る。30 周年に向けての話し合いを続ける。

第 173 回理事会は 2012 年 6 月 11 日 ( 月 ) 午後 2 時一ツ橋学生会館で開催予定。

編集後記 寒さの厳しい冬でしたが、いかがお過ごしでしたか。大震災から 1 年が過ぎました。私たちの同労団体からも支援の手が差し伸べられ、感謝しつつ仲介者としての役割を果たせたことをうれしく思います。復活祭を迎えた後にこの「通信」が届くことでしょうか。新しい春を、被害にあわれた方々とともに、どのように生きるべきか、深く考えさせられます。カリマントンで学ぶ若い人たちのことも覚えて・・・。

鳥海百合子